

一 会 員 の 声

3月号堀氏「土木教育と土木技術」に対する5月号所載反響2編を読みました。小生も堀氏の快論を全き共感をもって読んだ一人です。そしてこのような寄稿を堀氏のような人を得て企画、依頼された編集委員会の広量と良心にひそかに最大限の敬意を表していた次第です。今井氏は侮辱されたと怒つておられるようですが、全巻つぶさに読んでおられる方はそれで良いではないですか。問題はそういう会員が全会員中いかほどあるかということです。堀氏のあの一編は編集企画者、寄稿者とも、いかにして会員のため、学会のため、よい学会誌を作り出そうという善意の所産であることを一読して私などは直感しました。

もちろん、学会誌は娯楽雑誌とも総合雑誌とも違うから気軽に読めるだけではないでしょう。学会誌としての

性格と使命がありましよう。そんなことは堀氏も編集氏も大方の会員も先刻御承知の上での一編であろうからこそ価値があるのです。堀氏指摘のとおり学会誌が大方の会員から遊離している面も確かに否定できず、編集努力の余地もなお存するように思います。小生や小生の周囲の二、三の友人も打割つた話のとき、学会誌を止めたいが、学会に寄付のつもりで入つていると話していた矢先あの一編が出たので意を強くした次第です。

学園や研究部門だけが会員ではなく、現場部門、管理経営部門にも広く会員層をもっていることは堀氏調査のとおりです。教育、研究部門と産業界部門との間に密接なコミュニケーションが望まれる土木技術界の中核である当学会は堀氏の所論を大いに参考にされて大いに会員に親しまれる学会誌を作つて下さるよう編集委員諸氏の御尽力を望んで止まない次第です。

(正員 国鉄関東支社工事課長 鹿島健次)

編 集
後 記

田原委員長はじめ編集委員の半数が今月で任期満了となり、斎藤義治新委員長を中心に2年間にわたる編集陣がスタートすることになりました。宿題となつている問題も山積しており、皆様のご意見をうかがいながら一歩一歩と体質改善をはかりたいと思います。沼田新会長をはじめ理事各位の御協力をも御願ひする次第です。

地球の裏側に起つたチリの地震が三陸を中心に大津波をもたらし各地に大きな被害を与えました。伊勢湾台風といい今回の津波といい、完全

な予報体制の確立が強く望まれます。安保問題にともなう空白国会のため、復旧作業に支障をきたしたことは遺憾にたえません。とりあえず口絵とニュースに一部の被害状況を出しましたが、いずれ詳しい報告を発表する予定です。

土木、建築、地震の3学会および日本学術会議の主催で7月11日から第2回世界地震工学会議が東京と京都で開かれることになり、その運営に関係者一同大変な努力をしております。編集部も英文論文集を出版して出席者に配付し、この機会に大いに学会のPRにつとめたいと考え

ております。

7月号は総会および年次学術講演会の特集のような形で140ページ位になりそうで、予算上はらはらしています。初めての試みである部門総合講演は非常に盛況でした。今後はもつと充実して多くの講演をお願いする考えです。年々参加者がふえることはまことに喜ばしいことです。今後の運営にもいろいろ問題はありましようが、できるだけ成果が上るような方法を考えたいと存じますので御意見がありましたらどしどしお申出下さい。

(事務局編集課 岡本・記)

会 員 入 退 会 に つ い て (昭 和 35 年 5 月 31 日 現 在)

- 1. 入 会 290 名 (正 85, 学 194, 特 1C 6, 特 2 3, 特 3 2)
- 2. 復 活 3 名 (正 3)
- 3. 転 格 17 名 (学より正へ9, 正より名誉へ8)
- 4. 退 会 57 名

会 員 現 在 教 (昭 和 35 年 5 月 31 日 現 在)

名誉員	賛助員	特 1 A	特 1 B	特 1 C	特 2	特 3	正員	学生員	増加	合計
34	30	17	17	99	125	121	13 378	1 015	236	14 836

正員	三 浦 松 雄	岩手県土木部北上建設事務所長	昭和 35 年 4 月 19 日死去	51才
正員	佐 藤 正 雄	日本道路公団東京支社伊東遠笠山道路工事々務所	昭和 35 年 5 月 8 日死去	45才

昭和 35 年 6 月 10 日印刷

昭和 35 年 6 月 15 日発行

土 木 学 会 誌 第 45 卷 第 6 号

印 刷 者 大 沼 正 吉

印 刷 所 株 式 会 社 技 報 堂

東 京 都 港 区 赤 坂 溜 池 5 番 地

発 行 者 末 森 猛 雄

発 行 所 社 団 法 人 土 木 学 会

東 京 都 新 宿 区 四 谷 一 丁 目 (外 濠 公 園 入 口)

定 価 100 円

振 替 東 京 16828 番

電 話 (351) 5130 ・ 5138 ・ 5139 番